

# ピオグリタゾン錠「杏林」 ピオグリタゾン OD 錠「杏林」を服用される患者さんへ



この薬は必ず主治医の指示どおりに服用してください。

飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

昼までに飲み忘れに気がついた場合は、1回分をすぐに飲んでください。ただし、昼すぎに飲み忘れに気がついた場合は、1回とばして次の時間に1回分飲んでください。

血糖値を下げる糖尿病の薬が処方されています。以下の点にご注意ください。  
また、この注意は、必ず家族やまわりの方にも知らせてください。

低血糖症状をおこすことがあります。

この薬とほかの糖尿病の薬(血糖を下げる薬)を併用した場合に、低血糖症状をおこすことがあります。とくにインスリンとの併用で多くなることが報告されています。

低血糖症状がおこった場合は、がまんせずに早目に糖分(砂糖、ブドウ糖など)をとってください。

ただし、**-グルコシターゼ阻害剤(ボグリボースやアカルボース、ミグリトール)**などの糖分の吸収を遅らせる薬剤を併用している場合には、必ずブドウ糖をお飲みください。

高所作業や自動車の運転など危険を伴う機械を操作している時に、低血糖症状を起こすと事故につながります。特に注意してください。

低血糖症状やけん怠感、吐き気、食欲不振、むくみなど、この薬をのんで不快な症状が気になる場合は主治医に相談してください。

## 低血糖症状について

低血糖症状は空腹時に起こり、食べ物をとると急に良くなるのが特徴です。

低血糖症状とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、力のぬけた感じ、発汗、動悸、手足のふるえ、眼のちらつき等がおこったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。ひどい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。

異常な空腹感、脱力感

冷汗・動悸

手足のふるえ



頭重感、  
考えがまとまらない



意識がなくなる

低血糖症状が起これたら

- ・軽いうちは糖分(砂糖、ブドウ糖など)をとると治ります。したがって、日頃、常に糖分を持ち歩き、すぐその場で糖分をとれるようにしておく必要があります。
- ・低血糖症状を起こした場合は、必ず早めに主治医に報告してください。

低血糖症状を起こさないために

- ・薬の量や飲み方は主治医の指導を守りましょう。
- ・食事療法・運動療法はきちんと守りましょう。
- ・食事時刻の遅れ、激しい運動、空腹時の運動は避けるようにしましょう。

(裏面もご覧ください)

この薬の服用により、むくみ(浮腫)や体重増加があらわれたり、心臓の動きに影響し、息切れ、動悸などの症状があらわれることがあります。  
特に心臓の病気(心筋梗塞、狭心症、心筋症、高血圧性心疾患など)をお持ちの患者さんやインスリンを併用している患者さんはご注意ください。

次のような症状は、服用を始めてから早期にあらわれることがあります。

**むくみ(浮腫)**

むくみ(浮腫)のために、下腿や足が腫れたり、顔面やまぶたが腫れぼったくなるなどの症状がみられることがあります。

**体重増加**

体重の増加がみられることがあります。体重はできるだけ毎日測定し、急激な体重の増加に注意してください。

**息切れ、動悸**

労作時に息が切れたり、動悸がする(心臓がドキドキする)などの症状がみられることがあります。症状が進行すると、安静にしているにもかかわらずこのような症状があらわれることがあります。



むくみ(浮腫)・  
急激な体重増加



息切れ



動悸

この薬が膀胱がんの原因と断定されたわけではありませんが、海外の研究でこの薬が膀胱がんの発症率をわずかにあげるとする報告があります。

- ・膀胱がん治療中の方はこの薬を服用しないこととされています。膀胱がんと診断されたことがある場合は主治医に伝えてください。
- ・また、膀胱がんの早期発見のため、血尿や頻尿、排尿痛などの症状がみられた場合には、主治医に相談してください。
- ・くれぐれもご自身の判断で薬をやめないで、心配な方は主治医に相談してください。

**血尿**

尿が赤くなる場合があります(痛みを伴わない場合が多い)。

**頻尿**

排尿の回数が増える場合があります。

**排尿痛**

急な尿意や排尿時に痛みの症状がみられる場合があります。

そのほかに次のような症状があらわれることがあります。

- ・食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる、全身けん怠感
- ・脱力感、筋肉痛、褐色の尿
- ・みぞおちの痛み、吐き気、黒色の便
- ・発熱、咳、息苦しい

これらの症状に気づいた場合は、主治医にご相談するようにしてください。

病医院・薬局名

製造販売元

キョーリンフリメディオ株式会社

販売元

株式会社 陽進堂